

研究・調査報告書

報告書番号	担当
7 5	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳) Alcohol drinking may increase risk of breast cancer in men: a European population-based case-control study. 飲酒が男性における乳癌リスクを増加させる可能性：ヨーロッパでの住民対象症例-対照試験	
執筆者 Guenel P, Cyr D, Sabroe S, Lynge E, Merletti F, Ahrens W, Baumgardt-Elms C, Menegoz F, Olsson H, Paulsen S, Simonato L, Wingren G.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Cancer Causes Control. 2004 Aug;15(6):571-80.	
キーワード 男性乳癌、アルコール、症例-対照試験、ヨーロッパ	
要 旨 (背景) 女性では飲酒量がアルコール 1 日 10g 増えると乳癌リスクが約 7%増加するとされている。男性の飲酒量は一般に女性より多いにもかかわらず男性での飲酒の乳癌リスクに対する定量的検討は成功していない。一方アルコール中毒者や肝硬変症例において男性乳癌リスクが増加する否かに関しても定説を見ない。本研究ではデンマーク、フランス、ドイツ、イタリア、スウェーデンの住民を対象とした希な 7 つの癌の症例-対照試験データを基にして飲酒の男性乳癌に対するリスクを検討した。	
(方法) 症例は病理組織学的に診断された 35-70 歳の 74 例で、一方対照は年齢、地域を一致させて住民台帳から抽出した 1432 例である。整合性を検討するため 519 例の乳癌以外の希な癌の男性を対照とした個別の解析も行った。	
(結果) 対照住民をもとに検討するとアルコール摂取量が 1 日 10g 増えるごとに乳癌のリスクが 16%増加した (95%信頼区間 7-26%, $P < 0.001$)。1 日摂取アルコール量が 15g 未満の群に比べて 90g 以上の群のオッズ比は 5.89(2.21-15.69)であった。乳癌以外の希な癌を対照とした別解析でも同様の結果が得られた。	
(結論) 1 日摂取アルコール量が 60g 未満の男性の乳癌の相対危険度は女性と同様であった。これ以上の多量飲酒では相対危険度がさらに増加したが、女性ではこれ程多量群での検討は行われていない。	